

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(323)(HP 収載) —ベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番—

1. 始めに

前報(322)に引き続き、STAGE+のヨ・ソンジンのベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(322)に引き続きチョ・ソンジンのベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番を選びました。

ネゼ=セガンとチョ・ソンジンがルツェルン音楽祭で共演

ベートーヴェン&ブルックナー

2025年11月9日 20:00

現在進行中のヤニック・ネゼ=セガンとルツェルン祝祭管弦楽団によるブルックナー・シリーズから、交響曲第4番《ロマンティック》の演奏をお届けします。全9曲の中でも、特に親しみやすく人気の高い作品です。コンサートの前半で披露されるのは、莊重でドラマティックなハ短調で始まり、天国的な緩徐楽章を経て終盤には輝かしいハ長調の響きへと溶け込んでいく、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番。世界を舞台に第一線を走り続けるピアニスト、チョ・ソンジンがソリストを務めます。各地から集められた名手で構成されるルツェルン祝祭管弦楽団ならではの、高精度なアンサンブルが光る演奏をご堪能いただけることでしょう。

ソリスト:

チョ・ソンジン (ピアノ)

演奏:

ルツェルン祝祭管弦楽団

指揮:

ヤニック・ネゼ=セガン

曲目:

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン ピアノ協奏曲第3番ハ短調 op. 37

チョ・ソンジン(ピアノ)

アントン・ブルックナー

交響曲第4番変ホ長調《ロマンティック》WAB 104 (1878/80年稿、ハース版)



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。また、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力は ABS-7777 を適用しています。

ベートーヴェンのピアノ協奏曲第 3 番は、お馴染みの曲で、チョ・ソンジンの的確で力強いピアニズムがバックの構成のしっかりしたオーケストレーションとともに冴えていました。

ブルックナーの交響曲第 4 番《ロマンティック》は、セガンのスケールの大きい指揮の下、美しい弱音から、厚みのある壮大な盛り上がりまで、この大曲の醍醐味を聴かせてくれました。ホールの響きの良さやルツェルン祝祭管弦楽団の表現能力の高さも感じられました。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+ に送り出し、

PC と Brooklyn DAC+ の間には USB アキュライザーに交換した結果、チョ・ソンジンの的確で力強いピアニズムとブルックナーの厚みのある壮大な大曲の盛り上がりやホールの響きの良さが味わえました。

以上